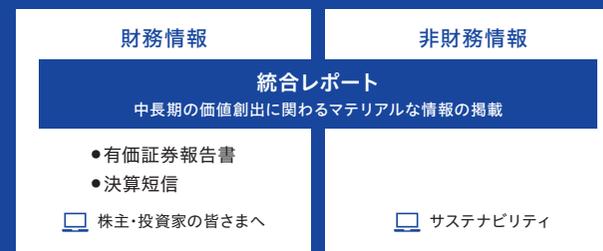


CONTENTS

グローリーの価値創造	3 目次／編集方針 4 グローリーの理念 5 グローリーの成長の軌跡 6 グローリーの4つの強み 7 価値創造プロセス 8 グローリーの事業 9 TOP MESSAGE
特集 イノベーションの源泉	12 成長戦略の実現に向けた人的資本・知的資本の強化 15 技術基盤 17 知的財産戦略
戦略とパフォーマンス	19 長期ビジョンと過去中期経営計画 21 2023中期経営計画(2022年3月期-2024年3月期) 23 海外事業 29 国内事業 33 財務資本戦略
サステナビリティを支える基盤	37 社会に貢献するためのマテリアリティ 39 気候変動への対応 42 人権 43 人材 45 サプライチェーン・マネジメント 46 顧客満足 47 コーポレート・ガバナンス 53 コンプライアンス 54 リスクマネジメント 55 社外取締役対談 59 役員一覧 63 新任取締役メッセージ
データセクション	64 主要財務・非財務ハイライト 67 財政状態及び経営成績の分析 71 連結財務諸表等 76 国内・海外ネットワーク 77 会社概要・投資家情報 78 ESGインデックスの組入れ状況／担当役員保証

統合レポートの位置付け



編集方針

本レポートはお客様・株主・投資家を始めとするステークホルダーからさらに信頼される会社となるために、事業を通じた社会的課題の解決と企業価値の向上に向けた取組みを財務・非財務の視点から体系的にまとめた統合志向のレポートです。本レポートの編集にあたっては、IFRS財団が推奨する「国際統合報告フレームワーク」及び経済産業省の「価値協創ガイドンス」を参考にいたしました。

「私たちは『求める心とみんなの力』を結集し、セキユア(安心・確実)な社会の発展に貢献します」という企業理念を基に、「人と社会の『新たな信頼』を創造するリーディングカンパニーへ」というビジョンを実現するまでの当社のビジネスモデルと価値創造プロセスをわかりやすく伝えることを目指しています。



見通しに関する特記事項

本レポートに掲載されている情報には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらは本レポート作成時点の当社の判断に基づくものであり、リスクや不確定な要因を含んでいます。今後、さまざまな要因の変化によって、記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があります。ご了承ください。

〈報告対象期間〉

2021年4月1日～2022年3月31日(一部に2022年4月以降の活動内容等を含む。)

〈報告対象組織〉

グローリー株式会社及びその国内外の連結子会社

表紙のご説明

表紙のモチーフである大理石は、古代より歴史的建造物などに使用され、繁栄の象徴とされてきた天然石です。なかでも天然の色として滅多に表れない青い大理石はとても貴重で、果てしなく広がる空を連想させます。当社のこれまで積み上げてきた歴史と、「人と社会の『新たな信頼』を創造するリーディングカンパニーへ」というビジョンにふさわしい、信頼と未来への期待の象徴として表紙を表現しました。

